



国土交通省



独立行政法人自動車事故対策機構

# 自動車アセスメント2007年度前期評価結果

カテゴリー	試験対象車種 試験車	衝突安全性能 総合評価		歩行者頭部 保護性能評価	ブレーキ性能 停止距離	
		運転席	助手席		乾いた路面	濡れた路面
<b>乗用車A 排気量1500cc以下(1BOX&amp;ミニバン除く)</b>						
	発売2006年1月～ <b>トヨタ ラッシュ / ダイハツ ビーゴ</b>	★★★★★ 6	★★★★★ 6	レベル4 	43.0	47.5
	試験車 ラッシュ G 試験車の排気量:1,495cc					
<b>乗用車C 排気量2000cc超(1BOX&amp;ミニバン除く)</b>						
	発売2006年12月～ <b>トヨタ ブレイド</b>	★★★★★ 6	★★★★★ 6	レベル3 	39.7	43.1
	試験車 ブレイド G 試験車の排気量:2,362cc					
	発売2006年11月～ <b>日産 スカイライン</b>	★★★★★ 6	★★★★★ 6	レベル3 	42.8	46.5
	試験車 スカイライン 250GT 試験車の排気量:2,495cc					
<b>1BOX&amp;ミニバン(座席が3列以上のもの)</b>						
	発売2007年2月～ <b>ホンダ クロスロード</b>	★★★★★ 6	★★★★★ 6	レベル4 	44.4	47.0
	試験車 クロスロード 20X 試験車の排気量:1,997cc					
	発売2007年1月～ <b>三菱 デリカ</b>	★★★★★ 6	★★★★★ 6	レベル3 	42.8	45.6
	試験車 デリカD:5 G-Navi package 試験車の排気量:2,359cc					
<b>商用車</b>						
	発売2007年1月～ <b>日産 AD/ADエキスパート/マツダ ファミリアバン</b>	★★★★★ 6	☆☆☆☆☆ 5	レベル3 	48.5	56.6
	試験車 AD VE 試験車の排気量:1,498cc					

2007年度選定車種のうち既に評価を行ったものについて掲載しています。

カテゴリー内は、重量の軽い順に並べています。

試験車は、試験対象車種の中で最も売れ筋のグレードの車を、販売店から任意に抽出し購入する方法等により調達しています。

2005年度からブレーキ試験を行うテストコースが移転し、従来と比較して湿潤路面の摩擦係数が異なっています。

## 衝突安全性能総合評価結果の見方

**運転席** (いずれも0～12点)

- フルラップ前面衝突試験
- オフセット前面衝突試験
- 側面衝突試験
- 総合評価点 (0～36点)

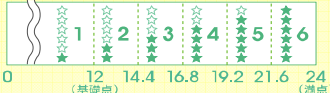
6段階評価



**助手席** (いずれも0～12点)

- フルラップ前面衝突試験
- 側面衝突試験
- 総合評価点 (0～24点)

6段階評価



★の数が多ければ衝突安全性能が良いことを示しています。

## 歩行者頭部保護性能評価結果の見方

5段階評価

- レベル5
- レベル4
- レベル3
- レベル2
- レベル1

レベル5

定められた試験条件で頭部に重大な損害を受ける危険性が約10%以下の確率  
 レベル2～レベル4  
 上記危険性が約10%～40%の確率  
 レベル1  
 上記危険性が約40%以上の確率



レベルの数値が大きければ歩行者頭部保護性能が良いことを示しています。HICの数値が大きければ頭部に傷害を受ける危険性が高くなります。

※頭部傷害値 (HIC: Head Injury Criteria)

衝突安全性能試験及び歩行者頭部保護性能試験の評価方法等については(独)自動車事故対策機構のホームページ<http://www.nasva.go.jp>をご覧ください。